

令和4年度 芳賀町学校運営協議会(分科会)会議録			
日時	令和4年 6月22日(水) 10:00 ~ 11:50		
場所	芳賀町立芳賀南小学校 会議室		
出席者	[学校運営協議会委員] 菅谷好人 古谷康典 水沼一彦 広田マリ子 岡田由美子 岩村智織 (協議会委員出席 6名)		
	[学校関係出席者] 生井 克成 関本恵美子 阿久津 仁 那花 和哲		
司会	関本 恵美子	書記	関本 恵美子
概要	1 開会 2 校長あいさつ 3 自己紹介・懇談 4 教科等横断的指導計画についての説明 5 閉会		
協議事項			
1 校長あいさつ (1) 児童の様子(6月学校だより) (2) 学校運営協議会の目指す方向性等について ・「地域とともに作り上げる学校」「学校とともに作り上げる地域」について ※第1回学校運営協議会資料より ・地域学校協働活動について ※令和4年度「芳賀の教育」			
2 自己紹介・懇談 ※ →…他の委員さんなどからの発言 (1) 菅谷好人 委員(本校PTA会長) ・5年前に芳賀町に戻ってきた。自身もだが、奥さんも、コミュニティ等の違いで戸惑うことも多い。外から入ってくる人たちへのサポートがあるといいと感じた。ゆっくりしたくてこちらに戻ってきたがなかなかゆっくりはできない。 →町の運動教室などに参加してみてください。 →町外からの新たな視点を知ると、視野が広がっていい。 →やはり町外から入り、戸惑うことも多いが、PTA活動などを通して様々なつながりができた。是非楽しんでやっていただきたい。			
(2) 古谷康典 委員(スポーツ協会の役員等、役職多数。硬式テニスも。) ・南小学区が一番端。周りに児童はいない。 ・タマネギの栽培、販売について。令和3年度、とちぎテレビでタマネギ栽培について取材・放映された。 →陶芸でタマネギを作って、直売所とコラボするのもいいなと思っている。 →栃木県で一番有名なタマネギ屋さん。息子さんも一緒に。			

(3) 水沼一彦 委員 (東水沼自治会長 (4年目)、保全会長)

- ・自治会長になり、学校に行く機会もあるかと思っていたら、コロナ禍で全く行けない。運動会等にも参加したい。

- ・コキアの栽培について

令和3年度新聞発表後の公開の様子について。トイレ、駐車場、立て看板の準備等。福祉施設の方々が写真撮影に来てくれた。令和4年度も87名の参加者で6000株植えた。

- ・令和4年度大字自治会事業計画一覧について

ハイキング等、夏休みの日曜日に設定し、多くの人が参加できるようにしている。

(4) 広田マリ子 委員 (南小コーディネーター)

- ・これまで、保育園勤務、子育てサークル、下高プレイパーク立ち上げなど、長年芳賀町の子育て支援に関わってきた。行政との折衝も何度もしてきた。

- ・旧下高小に作ったプレイパークも本当は地元(南小学区)に作りたかったが、適した場所がなかった。

→放課後、子供が自転車等、自分の力で行ける場所にプレイパークや駄菓子屋など、児童が集まれる場所があるとよいと思っている。

→南小の学区には何もない。何かを誘致していきたい。長年要望しているが…なかなか伝わらない。(お金も回ってこない。)

→プレイパークへの南小児童の参加率が低いと聞く。参加させたいが、保護者引率がなかなか難しい。

→学区内なら行きやすいが、学区自体も広すぎて、児童だけで自由に行くことは難しい。

→理科でも、マッチやアルコールランプを使わなくなり、体験が減っている。

- ・住民の声は強い。みんなで声を出していきましょう。

(5) 那花和哲 地域連携教員

- ・2年目になって、学校の様子が見えてきた。今年度は地域連携教員としてより活動していきたい。

- ・臨海自然教室に5年生を引率した。体験の素晴らしさを感じた。

(6) 岡田由美子 委員 (中学校コーディネーター、梨農家、読み聞かせボランティア、スポーツ推進員等々)

- ・学区だけではなく、芳賀町全体の学校の様子を知りたいため、学校運営協議会の分科会には全て参加させてもらっている。

(7) 岩村智織 委員 (北小コーディネーター2年目、学校運営協議会3年目、元北小PTA会長、陶芸家)

- ・芳賀中に子供が入学した際、校則に驚かされた。学校評価等で意見を書いている。個別に話を聞いてもらったこともあるが、広まったり改善したりすることは難しいと感じている。

→昔は当たり前だったことが、時代と共に変化してくることもある。

→外から見ると、変だと思うことが当たり前になっていることもある。

(8) 阿久津 仁 教務主任

- ・今年度、再度南小に赴任した。立場が違うこととコロナ禍を経たことで変化したこともあり戸惑

うこともある。なんとか、2ヶ月乗り切った感がある。

(9) 関本恵美子 教頭

- ・芳賀町勤務も長い。変わらないことと大きく変わったことがあるを感じる。
- ・平地林でのツリーハウスへの取組、豊かな自然は素晴らしい。
→保全会の活動の賜。プレイパーク的に活動することも可能な平地林ではないか。

(10) 生井克成 校長

- ・地元茂木で育成会長を経験した。現在は自治会の役員等もやっているが、子供の成長と共にその頃の関係がなくなってしまう。そのあたりのつながりを継続できる取組も必要だと感じる。
- ・これまでは、学校の要望に応じて地域の方が活動してくださっていたが、これからは地域貢献として、地域の情報を発信する場（コーナー）などを設置して、児童に発信していくことも必要だと感じた。
- ・今日の会で、学校はまだまだ地域を知らないと感じることができた。
→無理や強制をしないで取り組んでいただきたい。

4 教科等横断的指導計画についての説明

総合的な学習の時間や生活科を核とした教科横断的な学習について、全学年分が一覧表になっている。今後の活動（地域と共にある学校づくり）の参考にしていただきたい。